

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3306		
科目名	社会政策		
担当教員	山村 りつ		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 2		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E：〔学識・専門技能〕専門分野に係る理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I：〔理解力・分析力〕文章表現・数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、問題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（60%） I1 理解・分析と読解（40%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	社会政策は、広く社会生活全般に係わる政策がその対象となります。そのため、1つの講義の中でそれぞれの個別具体的な政策に焦点を絞ることは難しく、表面的な理解に留まることが懸念されます。そこでこの授業では、個別的な事象はあくまでも理解のための補足的知識として用い、むしろ社会政策の基盤となる理念や理論、政策システムといった基礎的・構造的な理解に必要な知識について取り扱っていきます。 ・キーワード：生活課題、社会関係、社会政策の機能と役割		
授業の趣旨	■ 副題：私たちの生活と社会政策 ■ 授業の目的：社会政策の基本的構造を理解し、自らの生活に関わる政策の理解につなげるとともに、今後の政策の方向性や動向についても目を向けることのできる知識を醸成します。 ■ 授業のポイント：社会政策に関する基礎知識を、自分の生活にいかに関わり付けて理解し、実生活で活用するか。		
総合到達目標	・自分の生活に関わる社会政策について理解し、活用できる。 ・生活課題と社会政策の関係を理解し、必要な社会政策やその変革についての意見を示すことができる。 ・現在の日本の社会政策における課題について、自らの言葉で説明し、改善策などの提示ができる。		
成績評価方法	①授業内試験（1回）：60点(E1) （評価のポイント） 授業で扱った社会的課題についての説明を求めます。その説明において、事実の適正な把握・因果関係についての客観的理解がきちんとできているか（記述できているか）を評価の対象とします。 （フィードバックの方法） テスト終了後に模範解答を示すとともに、評価の具体的なポイントを説明します。 ②授業中のコメント（13回）：40点(I1)		

	(評価のポイント) 初回とテスト回を除く各回の最後にコメントカードを回収し1～4点で採点します。その合計を40点換算して成績評価に用います。 評価は自分の意見が述べられているか、疑問や不明な点が挙げられているかに基づいて、授業の参加度(授業の内容をきちんと聞いていたか)について行います。 (フィードバックの方法) 次の回の授業でリプライを行います。また授業内でリプライができなかった質問や意見については、別途資料を作成し一括してリプライを行います。	
履修条件	特になし。	
履修上の注意点	授業内試験の際に手書きのノートや資料以外の持ち込みを禁止する可能性があります。 受講の際のノートテイクは、それを踏まえて手書きで行うことをお勧めします。	
授業内容	回	内容
	1	①概要：ガイダンス・オリエンテーション ②内容：授業の進め方について。社会政策の理解のための基礎知識の説明を行い、以降の授業に必要な基盤を獲得する。(E1) ③運営方法：講義 ④予習：自分の生活に関連する社会政策について考えてくる。(2時間) ⑤復習：授業内で提示した基礎知識・語句について覚える。(2時間)
	2	①概要：社会政策論の概要 ②内容：社会政策研究の系譜や他領域との関係と通じて、社会政策とは何かを考え、その意義について自分なりの解釈を得る。(E1・I1) ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：前回の授業内で提示する社会政策の範囲についての課題について考えてくる。(2時間) ⑤復習：自分が考える社会政策の範囲との相違について考察する。(2時間)
	3	①概要：社会政策の対象・機能 ②内容：社会政策が対象とする人・事象・分野と、社会政策に求められる機能について考え、自分の生活とのかかわりを示せるようになる。(E1・I1) ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：自分が生活のなかで利用している、影響を受けている社会政策について考えてくる。(2時間) ⑤復習：社会政策の機能について、具体的な例を考える。(2時間)
	4	①概要：給付 ②内容：社会政策における給付について、その種類や目的を実際の例を踏まえて理解し、その適切な配置についての判断がつくようになる。(E1・I1) ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：日常生活でうけている(きた)「給付」について親や家族から話をきく。(2時間) ⑤復習：授業内での説明を踏まえて、改めて親や家族と「給付」について話を聞く。(2時間)
	5	①概要：税・保険料 ②内容：社会政策における税・保険料の役割と、その仕組みについて理解し、抛出に対する必要性と責任を理解する。(E1・I1) ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：普段自分が払っている税や保険料を把握する。(2時間) ⑤復習：現在の日本の税制度についての課題を考える。(2時間)
	6	①概要：規制・優遇措置 ②内容：社会政策における規制や優遇措置の仕組みと、その機能・役割について実例を交えて理解し、規制の課題について説明できるようになる。(E1・I1) ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：身の回りにある規制について、その目的と効果について考えてくる。(2時間) ⑤復習：自分の身の回りの生活課題について、規制や優遇措置による解消の方法を考察する。(2時間)
	7	①概要：所得保障① ②内容：所得保障制度の仕組みと方法論について理解し、自分の生活に関係する所得保障を挙げることができるようになる。(E1・I1) ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：自分や家族が関わりのある日本の所得保障制度について調べてくる。(2時間) ⑤復習：自分の加入している公的年金制度の状況について調べてみる。(2時間)

	8	①概要：所得保障② ②内容：日本と海外の社会保障制度について比較し、それぞれの長所・短所や特徴を理解するとともに自分なりの判断を持つ。（E1・I1） ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：海外の所得保障制度について調べてみる。（2時間） ⑤復習：海外の所得保障の方法で日本にも取り入れたい方法と、その理由について考える。（2時間）
	9	①概要：医療保障① ②内容：医療保障制度の仕組みと方法論について理解し、自分の生活に関係する医療保障を挙げることができるようになる。（E1・I1） ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：普段使っている医療保険について調べてくる。（2時間） ⑤復習：保険方式以外の医療保障について考え、保険方式とどちらが好ましいか考えてみる。（2時間）
	10	①概要：医療保障② ②内容：日本と海外の医療保障制度について比較し、それぞれの長所・短所や特徴を理解するとともに自分なりの判断をもつ。（E1・I1） ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：海外の医療保障制度について調べてみる。（2時間） ⑤復習：海外の医療保険制度で日本よりも優れていると思うものと、その理由を考えてみる。（2時間）
	11	①概要：労働保障 ②内容：労働保障の基盤となる理念から、その仕組みと方法論について理解し、自分の将来の働き方について意見をもつ。（E1・I1） ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：将来の自分の働き方に何を望むのかを考えてくる。（2時間） ⑤復習：現在の労働政策の状況を踏まえた上で、今後の就職活動にどう生かすかを考える。（2時間）
	12	①概要：生活の基盤を支える制度 ②内容：家族制度を中心として、教育やシチズンシップなど、社会制度の基盤となる制度について理解するとともに、日本の社会の偏性について理解する。（E1・I1） ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：「家族」の定義・条件とは何かについて考えてくる。（2時間） ⑤復習：家族制度の意義について自分なりの言葉で説明を考えてみる。（2時間）
	13	①概要：社会政策における「リスク」 ②内容：社会政策を考える上での「リスク」の捉え方、その意味について理解する。生活リスクの発生と社会的マイノリティ性について理解する。（E1・I1） ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：自分の生活におけるリスクを考えてくる。（2時間） ⑤復習：自分のリスクに対して、どのように社会政策を活用することができるか考える。（2時間）
	14	①概要：国際比較と潮流 ②内容：さまざまな国の社会政策における類型（タイプ）と特徴、また動向について理解し、日本の状況について説明できるようになる。（E1・I1） ③運営方法：講義・前回のリプライ・コメント回収 ④予習：これまでの社会政策の構造についての講義を振り返り、疑問点を明らかにする。（2時間） ⑤復習：授業で示された類型などに基いて、日本の社会政策の特徴を自分なりの言葉で表現する。（2時間）
	15	①概要：理解度の確認 ②内容：授業内で挙げた課題についての理解度を測る。（E1・I1） ③運営方法：前回のリプライ・テスト ④予習：14回の授業で提示する項目を中心に、テストに向けた復習を行う。（2時間） ⑤復習：テストの問と自分の回答について確認をする。（2時間）
関連科目	財政学（RMGT3305）	
教科書	特になし。	
参考書・参考URL		
連絡先・オフィスアワー		

研究比率	
------	--

